

八雲町道路網整備効果検討等及び要望書策定業務  
公募型プロポーザル講評

本プロポーザルに係るプレゼンテーションは、八雲町における道路網の課題整理及び整備効果検討（主に国道277号の整備効果）、関係機関に対する訴求力のある要望書やその他の独自提案を含めたテーマに基づき、2者による創意溢れる技術提案をいただきました。

技術提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングの中で、焦点が当てられたのは、今までも国道277号に対する要望活動をしている中、どのようにしたら関係者が心打つような要望書となるのか、国道関係者との連携について、当町のみならず他地域を巻き込んだ広域戦略、そして八雲町道路網のハード・ソフト面双方の課題の考え方でした。

2者の提案内容には、これらの考え方がさまざまに盛り込まれており、選定委員が、的確性や独創性、実現性、そして関係者との連携などの視点に基づき審査するうえでの大きなポイントでもありました。

また、訴求力のある要望書の根拠についても、既存のビッグデータを活用することでの効率性、データを活用するのみならず、本業務の目的に沿った適切な分析・整理方法により精度・確度の高い、そして「より目立つ」要望書の策定手法について、全ての技術提案者から提案いただきました。

選定委員会は、2者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施後、第1次審査の評価と合わせ最終的な評価を行い、各テーマに対する技術提案について、本業務の内容を十分に理解し、要望書を策定して終わりではなく、事業着手を見据えた具体的かつ意欲的な提案と履行体制により確実な業務が期待できる技術提案者を最優秀（受注候補者）として選定いたしました。

優秀者（次点者）を含めたその他の提案者からも、八雲地域・熊石地域で完結し交通量が比較的少ない国道277号という課題・条件に対し、独創的で優れたご提案をいただきました。その中でも、最優秀者については、当町の最終目的である事業着手を理解していること、今までの国道等道路網整備効果検討業務等の実績・ノウハウを有しているとともに、事業着手に必要なトレンドを把握しつつ具体的な事業名、同条件化での事業化事例の紹介を頂きつつ、各テーマに対する提案内容がそれぞれ優れていたため、最も高く評価される結果となりました。

八雲町道路網整備効果検討等及び要望書策定業務

プロポーザル選定委員会 委員長 八雲町 副町長 成田 耕治